

南紀熊野ジオパーク探偵団

令和8年度「紀伊半島の森林の生態系を考える」活動実施要領

南紀熊野ジオパーク推進協議会

令和8年4月20日作成

1 目的

森林は、二酸化炭素を吸収したり、多様な動植物を育んだりするなど私たちに様々な恩恵をもたらしています。しかし、世界では、1000万ヘクタール（北海道面積の約1.2倍に相当）の森林が毎年破壊され、約4万種の動植物が今後数十年で絶滅の危機に瀕すると報告されています*。

一方、江戸時代に紀州藩では、「留山」という制度を定め、森林資源を保護や土砂災害の防止が必要な場所での樹木の伐採などを禁じていました。

現代でも、和歌山県では、先人の知恵にならい、貴重な自然生態系を支える森林を「新紀州御留林（しんきしゅうおとめりん）」として公有林化し、永続的に保護しています。

本テーマでは、南紀の里山と奥山に足を運び、この地域の森林現状を知るとともに、森林生態系に住む生き物の調査方法についても学び、その特徴や機能について考察します。

* 出典：国連「持続可能な開発目標（SDGs）報告2022」



2 探偵団の活動の流れ

Step 1 <事前学習> 課題の認識	: 専門家の意見を聞いて課題意識を持つ	3つセットの参加が原則
Step 2 <現地活動> 原因調査	: 課題の元になっている現況を自ら調査する	
Step 3 <事後学習> 課題の共有	: 同じ視点を持つ者の中で課題を共有する	
Step 4 <探究活動> 課題整理、分析	: 専門家の助言を受けながら、さらに調査や調べ学習を行い、課題を整理分析し、思考する	応用編 チーム単位・ 個人単位 どちらも可
Step 5 <活動発表> 研究成果の評価	: 自らの気づきや発見、意見をまとめ、公表する 多面的な評価を受け、新たな気づきを得る	

3 主な日程

4月20日（月） 参加申込受付開始（5月22日（金）締切）定員30名程度（先着順）

- ① 9月11日（金） 事前学習（Zoom形式）
- ② 9月13日（日） 現地活動 予備日 10月17日（土）

場所：北海道大学和歌山研究林（古座川町平井）

《紹介ホームページ》

<https://www.hokudai.ac.jp/researchtimes/2022/09/-6.html>



《紹介動画 YouTube》

<https://www.youtube.com/watch?v=fNFpRX2L5lg>



③ 9月15日(火) 事後学習 (Zoom形式)

以降の探究活動については、専門家や事務局が個別に対応

④ 令和9年2月以降 活動発表会 (Zoom形式)

※活動に関する打ち合わせは、メールもしくは電話にて適宜行います。

4 内容の詳細

① 9月11日(金) 事前学習 (Zoom形式) 15:40～17:40 (予定)

- ・開始時間は参加者等と調整して決定します。
- ・課題の認識を目的とした事前学習を、専門家の講義を交えて行います。
- ・Zoomの接続先は、申込時のメールアドレスへお知らせします。
- ・事前学習までに、1ページに記載している北海道大学和歌山研究林の紹介動画を視聴してください。
- ・事前学習は、下記の内容で行います。
 - (1) ジオパーク探偵団について 南紀熊野ジオパークセンター 所長 高地 徹
 - (2) SDGsと持続可能な地域づくりについて 和歌山大学 教育学研究科 教授 岡崎 裕
 - (3) 南紀に分布する植物を知る
北海道大学 北方生物圏フィールド科学センター
森林圏ステーション 苫小牧研究林 助教 倉田 正観
 - (4) 現地調査活動の紹介
北海道大学 北方生物圏フィールド科学センター
森林圏ステーション 和歌山研究林 教授 岸田 治

② 9月13日(日)

現地調査活動 9:00～16:00 (予定) (小雨決行) 予備日: 10月17日(日)

- ・場所: 北海道大学和歌山研究林 (古座川町平井)
<https://hokudaiwakayama.jimdofree.com/>



- ・定員 約30名 (先着順)
- ・天然林を構成する樹木の特徴を学んだ後、動植物の観察を行います。
- ・集合: 北海道大学和歌山研究林本館 (古座川町平井 559 電話 0735-77-0321)
- ・昼食は持参してください。
 - 9:00 集合・受付
 - 9:15 里山トレッキング ～ 山村と林業の現状を知る ～
 - 10:45 動物調査の見学
 - 11:15 昼食 (各自持参)
 - 11:45 天然の森を知る ～ 樹木同定, モノレールによる奥山巡り
 - 15:15 オオサンショウウオ調査の見学
 - 16:00 研究林庁舎に戻り・解散

<交通手段>

○自家用車 JR 周参見駅、串本駅、古座駅から約1時間

○借り上げバス（定員10人前後）を運行します。

①田辺方面から（紀伊田辺駅発着）

②新宮方面から（新宮駅発着、古座駅経由）

※時刻等は後日お知らせします。

※借り上げバス乗降場所までの交通費は、当日、各自ご負担ください。

負担が難しい場合はご相談ください。

<現地活動についての留意事項>

- ・各自の服装は、長袖、長ズボン、歩きやすい靴としてください。
（9月及び10月はスズメバチの活動期間ですのでご注意ください。）
- ・各自で、お弁当（昼食）、雨合羽、帽子、飲み物、タオル、メモ、筆記用具をご準備ください。
また、乗り物酔いしやすい人は酔い止め薬を持参してください。
- ・現地調査活動には、子供たちの安全管理を徹底するため、引率者の同伴を求めます。
- ・雨天でも実施しますが、荒天等の場合は中止します。実施の可否の判断は、前日の正午に決定し、中止の場合のみ前日の16時までに引率者に連絡します。
- ・体調が悪い場合は、無理に参加しないでください。
- ・現地活動における保険は、南紀熊野ジオパーク推進協議会が負担し、SOMPOホールディングス株式会社のレクリエーション保険に加入します。

③9月15日（火） 事後学習（Zoom形式）15:40～17:00

- ・日時は、平日夕方を想定しています。
- ・現地活動から得た内容を共有する目的で事後学習を行います。
- ・参加者がそれぞれ気付いた内容を報告していただく予定です。

なお、予備日で現地活動を実施の場合は10月21日（水）に行います。

探究活動

- ・探求するテーマは参加者が決定し、探究活動は各学校が主となって取り組みます。
- ・活動に当たっては事務局員がサポートし、必要に応じて進め方や内容など助言が必要な場合、探求テーマに応じた専門家から助言を行います。

④令和9年2月頃 活動発表会（Zoom使用）

- ・探究活動を行った学校がある場合は、活動報告会を行います。日程は、参加者と調整します。

5 問い合わせ先・申し込み先

南紀熊野ジオパークセンター 吉田・本郷

〒649-3502 和歌山県東牟婁郡串本町潮岬2838-3

電話 0735-67-7100 FAX 0735-67-7191

Mail e1004021@pref.wakayama.lg.jp